



「支えあう日本」への原動力

大型連休を利用して、全国各地から多くのボランティアが東日本大震災の被災地に駆けつけている。被災者のために何かしたい。そんな思いを抱いて、自発的に行動する人がこれほど多くいることに、心強さを感じずにはいられない。草の根の人々の善意に支えられたこの流れを大切にしたい。その先にあるものこそが、公明党の復興後の日本像として描く「支えあう社会」に違いないから。
(公明新聞「主張」欄抜粋)

大地震発生！ 備えは大丈夫ですか？

- ① グラツときたら、身の安全
- ② 落ち着いて火の元確認、初期消火
- ③ あわてた行動、けがのもと
- ④ 窓や戸を開け、出口を確保
- ⑤ 落下物、あわてて外に飛び出さない
- ⑥ 門や塀には近寄らない
- ⑦ 正しい情報で確かな行動
- ⑧ 確かめ合おう我が家の安全、隣の安否
- ⑨ 協力し合って、救出救護
- ⑩ 避難の前に安全確認、電気、ガス

亀岡市では「地震ハザードマップ」が各戸配布されています。参考にして下さい。

亀岡市公明党議員団と青年局で 日本救援募金を実施。

平成23年3月26日(土)、アルプラザ前にて

募金は、亀岡市健康福祉部に委託し、日本赤十字社を通し現地へ送らせて頂きました。



「平成23年度3月議会質問要旨」(抜粋)

日高省子 議員

問1. ①女性特有のがん(子宮頸がん、乳がん)無料クーポンにより受診率は向上したか。②今年3年目も継続して実施されるのか。③23年度予定の大腸がん検診無料クーポンについて

答1. ①子宮頸がん77.2%、乳がん64.8%で受診率は向上した。②23年度も実施する。③40歳から60歳まで5歳刻みの対象者に無料クーポンを送付し、受診促進を図る。

問2. ①観光客を増やし地域の活性化につながる取り組みについて

答2. ①亀岡駅1Fに観光案内所の位置を示す、表示板を置く。かめまるグッズの販売は商工会議所と連携しお願いする。

藤本 弘 議員

問1. ①「亀岡市城下町お雛様めぐり」について、新たな観光行事としての考えは

答1. ①地元商店街等の実行委員会によりスタンプラリーや「十二単衣おひなさまになろう」等企画しており城下町散策マップの配布や新聞折込も考えている。

問2. ①中学校給食の実施について

答2. ①現給食センターの能力では対応できず、また学校にも配膳室等の整備が必要。実施を検討する段階になればアンケート等も大切だと考える。

山本由美子 議員

問1. ①深刻化する自殺の予防に向け、主な原因とされるうつ病に対する本市の対策は

答1. ①精神保健福祉支援員を社会福祉課に配置し、自殺予防の推進を図る。関係機関と連携をとり、相談窓口体制の充実に努めたい。

問2. ①上水道未普及地域(東・西別院町)への取り組みは

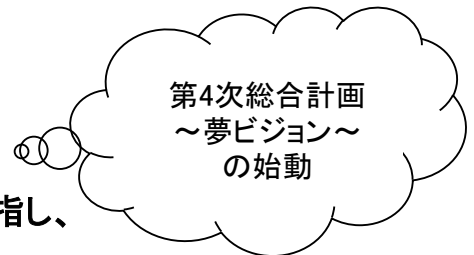
答2. ①まず関係住民の合意形成が必要と考える。今後、意向調査を行うとともに、自治会等を通じ協議していきたい。

亀岡市平成23年度一般会計予算

一般会計 323億4000万円
 特別会計 275億8700万円
 計 599億2700万円

一般会計対前年度19億9900万円増額
 (対前年度比6.6%増)

公明党の要望が大きく反映しました



○小・中学校施設の耐震化率100%を平成27年度を目指し、7億4900万円を計上

○水道未普及地域(畑野町)解消事業3億4800万円を計上
 平成25年度の事業完了をめざす

○市民の健康を守る各種予防接種及び検診の充実
 子宮頸がんワクチン予防接種、ヒブ・小児肺炎球菌ワクチン接種、働く世代への大腸がん検診などに3億1900万円を計上



子ども医療費助成の充実について

実施時期 平成23年7月診療分から

	0歳～2歳	3歳～小学校就学前	小学校卒業まで
入院	自己負担1ヶ月200円		
通院	自己負担1ヶ月200円		(拡充) 1ヶ月医療費の支払額の3000円を超える額、申請により助成

公明党は、小学校卒業までの入院・通院の医療費の無料化及び中学校卒業までの入院・通院の医療費の無料化を目指してまいります。



地域のご要望・ご相談・ご意見等ございましたら、お気軽にご連絡下さい

亀岡市議会議員

公明党 亀岡副支部長

山本 由美子

〒621-0114

亀岡市東別院町鎌倉雁松9-37

TEL・FAX 0771-27-3742 携帯 080-1420-4423

E-mail yamamo630216@zeus.eonet.ne.jp